



公明党
小松伸介

災害による被害を最小限に抑える対策を！ 過去の質問事項にスピーディーな対応を！

問 防災袋の無償配布は。
答 自治安心課長 全戸配布は難しいが、エリア訓練等の啓発品として検討する。

問 FM波等を利用してラジオで町の情報を流しては。
答 自治安心課長 民間でコミュニティFM局を開設している自治体もあるが、初期投資・年間維持に膨大な費用が必要で、手を出しづらい状況と聞いている。



道路幅員の狭い
藤久保1区江川周辺住宅地

問 三芳郵便局駐車場側へ非常時、容易に避難できるよう経路を確保できないか。
答 自治安心課長 再度郵便局へ要請していく。

問 江川周辺の富士見市と隣接する住宅地への防災対策として蓋かけできないか。
答 町長 富士見市と話し合いの場があれば協議していく。

問 県道、三芳・富士見線の歩道設置の進捗状況は。
答 道路交通課長 県に経過確認したが、着手している事業の見通しがついた時点で、要望箇所を検討も視野に入れていくこと。

問 今後の検討状況は。
答 政策推進室長 町記念事業と合わせ事業化を検討。

問 砂塵対策について
答 観光産業課長 菜の花畑を徐々に広げていきたい。

問 砂塵対策をどのように行うか。
答 町長 特別な応援体制構築を進めていきたい。

問 年間の対応依頼件数は。
答 道路交通課長 30件程。

問 1箇所にかかる時間は。
答 道路交通課長 4日程。

問 人員は足りているか。
答 道路交通課長 担当課のみの対応のため住民依頼にすぐ対応できない状況。

問 対応部署を拡大し、砂塵対策本部を設置しては。
答 町長 特別な応援体制構築を進めていきたい。



山田政弘

緑の保全を進めるための新たな提案！ 民間活力導入により、貴重な緑の保護を！

問 山林面積の推移は、どのように変化しているか。
答 都市計画課長 10年前と比較すると、28万㎡ほど減少していると思われる。

問 山林面積について、町内と町外の所有者割合は。
答 都市計画課長 課税状況から、町外所有者は、1/4程度。



問 開発指導要綱での緑地指導について、平成20年時点と変わっているのか。
答 都市計画課長 現在でも同様に指導している。

問 公園及び緑地について完了検査後も確認できるよう検査方法を改善したか。
答 都市計画課長 現在も行ってないが企業側のモラルに任せている。将来的にその企業に緑地等の減少が見られたら、改めて指導したい。

問 多くの職種等事業主にも、受注機会を確保して、更には受注額の増額も含め拡充することはできないか。
答 財務課長 他市の動向を見たいと考える。

問 警察官、消防士等の経験者を採用し、仮称「町民安全相談員制度」を導入し、安心して暮らせる町づくりを推進してはどうか。
答 自治安心課長 専門的な知識は有効な手段だが、常勤、非常勤等身分の取り扱い等も含め検討したい。

小規模契約希望者登録制度の拡充について
問 多くの職種等事業主にも、受注機会を確保して、更には受注額の増額も含め拡充することはできないか。
答 財務課長 他市の動向を見たいと考える。

（仮称）町民安全相談員について
問 警察官、消防士等の経験者を採用し、仮称「町民安全相談員制度」を導入し、安心して暮らせる町づくりを推進してはどうか。
答 自治安心課長 専門的な知識は有効な手段だが、常勤、非常勤等身分の取り扱い等も含め検討したい。

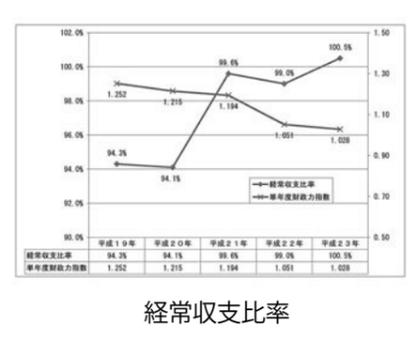


三芳みらい
山口正史

脱財政硬直化宣言に関して 三芳町緊急行財政改革対策プラン

問 昨今の孤立死事案は高齢者世帯だけではない孤立死が発生している。当町の現状と対策はどうか。
答 福祉課長 昨年度は4名の方が亡くなっている。民生委員の見守りや、福祉新聞の配布、配食サービス等とあわせて4月より水道検診業者と地域の安否確認の協定を結んだ。

問 行田市では地域安心ネットワーク会議で、市と社会福祉協議会、民生委員、自治会等がネットワークを構築し見守りを実施しているが当町の取り組みは。
答 福祉課長 社協と個人情報共有がされていない。今後、ネットワーク構築に取り組んでいきたい。



問 脱財政硬直化宣言が発表されたが、この時期に発表した理由は。
答 政策推進室長 平成23年度決算で経常収支比率が100%を超え、このままでは更に硬直化が進み住民サービスの低下が懸念されるため、緊急対策が必要と判断。

問 財政の構造が深刻な状況とされているが、深刻なのは経常収支だけか。
答 政策推進室長 子育ての充実などは住民の流入を促し、間接的に税収の増加が期待できる面もある。福祉の切り捨ては考えていない。

問 職員の給与の見直しがあるが、まずは国からの基準を超えている初任給及び地域手当を見直すべきでは。
答 総務課長 色々な事情はあるが、検討する必要があると認識している。

問 この宣言では歳出削減に対し観念論が多いと感じる。実効性のある歳出削減策は、問題点の分析を徹底して行い、その後に具体策を講じるべきではないか。
答 財務課長 宣言の実効性を高めるためには具体的な方策が必要と感している。今後は具体的な方策を示していきたい。

問 削減を示すべきでは。
答 財務課長 具体的な数値は設定していないが、設定できるように今後の研究課題としていきたい。

問 宣言では税収の増進が期待できる事務事業に資金を投入するとされている。税収の増進にはならない、福祉の切り捨てになるのでは。
答 政策推進室長 子育ての充実などは住民の流入を促し、間接的に税収の増加が期待できる面もある。福祉の切り捨ては考えていない。

問 職員の給与の見直しがあるが、まずは国からの基準を超えている初任給及び地域手当を見直すべきでは。
答 総務課長 色々な事情はあるが、検討する必要があると認識している。

問 この宣言では歳出削減に対し観念論が多いと感じる。実効性のある歳出削減策は、問題点の分析を徹底して行い、その後に具体策を講じるべきではないか。
答 財務課長 宣言の実効性を高めるためには具体的な方策が必要と感している。今後は具体的な方策を示していきたい。



公明党
岩城桂子

孤立死の防止対策について 見守り地域安心ネットワークの取り組みを！

問 昨今の孤立死事案は高齢者世帯だけではない孤立死が発生している。当町の現状と対策はどうか。
答 福祉課長 昨年度は4名の方が亡くなっている。民生委員の見守りや、福祉新聞の配布、配食サービス等とあわせて4月より水道検診業者と地域の安否確認の協定を結んだ。

問 行田市では地域安心ネットワーク会議で、市と社会福祉協議会、民生委員、自治会等がネットワークを構築し見守りを実施しているが当町の取り組みは。
答 福祉課長 社協と個人情報共有がされていない。今後、ネットワーク構築に取り組んでいきたい。

問 高年齢者の憩いの場であるふれあいセンターが今後廃止を検討するところがあるが、今後の取り組みはどうか。
答 町長 ふじみ野市の温泉施設と地域拠点施設で対応していく方針だ。

生活困窮者対策は！
問 景気低迷で生活保護受給者が増大。埼玉県では自立支援対策としてチャレンジ

「アスポート事業」があり、生活困窮者の就労支援や子どもへの学習支援に取り組んでいるが町の支援は。
答 福祉課長 今後、県と連携をとり支援していく。

安全・安心のまちづくり
問 町の防犯対策は。
答 自治安心課長 行政区と連携し、青パト運行や地域防犯活動など見せる防犯を促進している。

問 自主防犯ボランティア団体のパトロール状況は。
答 自治安心課長 青パト・老人会など39団体が登録し、昼間や夜間、年末年始に防犯活動をしている。

その他の質問 通学路・空き家・不法投棄場所の死角点検の進捗について



ふれあいセンター



三芳みらい
抜井尚男

施政方針・脱財政硬直化宣言について 魅力あふれる三芳町の未来のために

問 町長の施政方針について、協働の推進の中に地縁型協働とあるがどのようなことか具体的な取り組みは。

答 自治安心課長 従来の分野別・テーマ型協働活動から更に地域近隣の縁故や絆を醸成するエリア型協働へと発展させ両輪で地に着いた地域に根差した協働のまちづくりを進めていく。

問 政策・施策・事業の各レベルでの協働とは。

答 自治安心課長 現場協働から住民参加を深め分野計画の策定・まちづくり方針の検討など政策レベルまで住民参加を位置付けた。

問 三芳町総合振興計画審議会の検討内容は。

答 政策推進室長 町内の様々な分野で活動されている住民の皆様に参画して頂き多方面の意見を集約していく。更に住民公募によるワークショップ等を開催し広く意見を公聴し振興計画を策定していく。

問 防災・減災のまちづくりの総合防災訓練とは。

答 自治安心課長 2市1町での合同防災訓練は4年に1回実施し、時期は未定だが

今後の活用が予定されている民間グラウンド



より実践的な地域防災拠点の訓練と町の災害対策本部の訓練が連携した総合防災訓練を予定している。

問 地域防災訓練を各地で開催しやすいようにマニュアルを作成すべきでは。

答 自治安心課長 状況をしながら他の行政区でも開催しやすいものを作成予定。

問 公園の整備について緑地公園東側の民間グラウンド活用とあるが進んでいるか。

答 都市計画課長 主に町内の少年スポーツ団体が使用できるよう交渉を始める。

問 脱財政硬直化宣言で町内公共施設は検討するのか。

答 政策推進室長 公共施設ストックマネジメント計画で統廃合や維持管理の平準化等を今年度決定する。



三芳みらい
菊地浩二

三芳町の認可保育園は『安心・安全』か 保育の質について問う！



保育所は子どもにとって快適な生活環境でなくてはならない。そしてなによりも優先されるのが安全である。待機児童解消が求められるなか、規制緩和等で保育の質を下げたままでは保護者は安心して大切な子どもを預けることはできない。最低基準ではなく、最高の保育のために三芳町の姿勢を伺う。

問 三芳町には法に基づく保育所保育指針を踏まえた独自の保育方針はあるか。

答 三芳町には法に基づく保育所保育指針を踏まえた独自の保育方針はある。

問 保護者は知るべきでは。提示できるよ、今後検討する。

答 三芳町では一定の条件下では看護師等を配置しなくてはいけなかったが、改正により規定がなくなった。理由は看護師不足がこの規定で認可保育園が増やせないからだった。三芳町もこの意見に賛成されたようだが、保護者など利用者側からの意見聴取はしたか。

問 子どもの安全を第一に考えるべきではないか。

答 三芳町では第一に安全を第一に考えるべきではないか。

問 食物アレルギーに関する資料をいただいたが、これが対応マニュアルか。

答 保育所長 公立はそうだが、民間の保育所は確認していない。

問 2園は作成してある。

問 公立・民間で対応の統一性がないし、管理ができていない。改善すべきでは。

答 三芳町では第一に安全を第一に考えるべきではないか。

今後連携していきたい。

問 子どもの安全を第一に考えるべきではないか。

答 三芳町では第一に安全を第一に考えるべきではないか。

問 食物アレルギーに関する資料をいただいたが、これが対応マニュアルか。

答 保育所長 公立はそうだが、民間の保育所は確認していない。

問 2園は作成してある。

問 公立・民間で対応の統一性がないし、管理ができていない。改善すべきでは。

答 三芳町では第一に安全を第一に考えるべきではないか。



日本共産党
杉本しげ

国の「設計労務単価引き上げ」を反映せよ スマートIC周辺整備 企業誘致はあるか

問 国の設計労務単価引き上げを受け、埼玉県では全職種平均で前年度比18.3%の大幅伸びとなった。

三芳町の4月以降の公共工事3件(上富小学校舎・体育館・竹間沢小体育館、町立第二保育所)の耐震補強工事は、旧単価で設計額を算定している。国の特例措置に従い新労務単価を反映すべきではないか。

答 財務課長 3件の公共工事については、国の特例措置に従い新単価を適用し、改めて算出する。金額が確定次第議会に、「契約変更の承認を求める」議案を提出したい。

問 国の通達は、実際に末端で働く下請け企業や労働者の賃金引き上げを目的としている。発注者として元請け業者への指導を徹底すべきではないか。

答 財務課長 「三芳町入札参加資格者の遵守事項」を工事契約時に強く要請する。

問 スマートICフル化に伴う土地利用見直し

問 土地利用方針策定部会の報告では、幹線3号線沿い

を「みどり共生産業ゾーン」と設定している。企業のニーズを調査する必要があるのでは。住宅、介護施設、病院など「住み続けられる」ための土地利用の見直しをすべきではないか。

答 政策推進室長 総合振興計画策定委員会で見直し素案の作成を行うが、スマートICの整備効果、地域経済の活性化などにつながる見直しを行いたい。

問 小学校にエアコン設置

問 来年、中学校に設置するため設計費が今年予算化された。事業の前倒しをして小学校にも設置すべきではないか。

答 町長 財源が厳しいが検討し、できればそうしたい。



スマートIC出口付近



細田家永

観光産業どうする、遅れを取るな！ ふれあいセンターどうなる！

問 川越商工会議所は「川越藩」地域全体の観光客誘致のため、6月に平林寺多間院、多福寺を視察と聞いているが、どう捉えているか。

答 観光産業課長 3月に東上線が東急東横線、東京メトロ副都心線と相互直通運転を開始し、川越の春まつりの観光客は、2.6倍に増加、今後は地域全体を観光化するつもりでいる。大変良いことだと考える。

問 川越商工会議所が積極的な観光事業に出ている。大変良いことだが、主導権は市や町が取るべきでは。

答 観光産業課長 今後は広域観光マップなどを作成し、その際、町に連携依頼をするつもりでいる。三芳町にとってもチャンスと捉えている。インシアチブは取っていきたい。

問 財政健全化に向けて観光産業は、今後大きく関わってくるかと思うが、どう捉えているか。

答 観光産業課長 観光産業は住民の流出を防ぎ、また企業誘致などにも大きな役割を担っている。お金を落

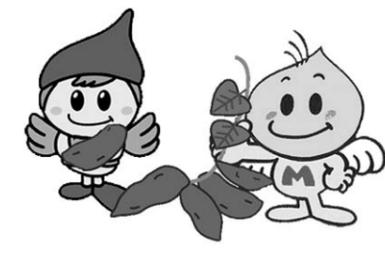
とす場所なども積極的に検討しなければならぬと考えている。

問 ふれあいセンターは来年閉鎖と聞いているが、続けてほしいとの声をどう捉えているか。

答 福祉課長 築後36年、老朽化が進み、維持費、運営費等が年々増加し、耐震関連費用を考えると財政厳しい中、中長期的に運営継続は困難と考えている。

問 広域ごみ処理センターに余熱を利用した施設が来年6月にできるが、送迎バスはどうなるか。

答 政策推進室長 温浴施設への利便性を損なわないよう、ふれあいセンター同様の運行状況が確保できるよう要望している。





日本共産党
増田 磨美

子ども達のために三芳の保育の充実を 企業訪問における若者の就職支援について

問 町から出ている各々の認可保育所への補助金額は。

答 **子ども支援課長** 桑の実三芳保育園・1652万8000円、あずさ保育園・2067万円、三芳元氣保育園・1994万1000円。

問 認可保育所への補助金は保育所運営のために出ており、町で育つ乳幼児と子育て中の町民のための大事な事業として予算化されている。子ども達は安全で健やかに保育され、保護者と園とは緊密な信頼関係が築けるように町が指導していく責任がある。町としてはどのように考えているのか。

答 **子ども支援課長** 保護者の意見を取り入れて保育の充実を図っていききたい。

問 町内5つの保育所が連携を図りながら全体の保育の質をレベルアップさせていきたい。補助金を出しているのだからいろいろな面で指導していきたい。

問 待機児を放っておくことはできない。先を見据えて0歳児から3歳児までの公立保育所を増設しては。

答 **町長** 財政的に可能な公立第3保育所は、耐震補

強工事ではなく新設して枠を拡大する等、保育の充実を検討していきたい。

問 町から出ている各々の認可保育所への補助金額は。

答 **子ども支援課長** 桑の実三芳保育園・1652万8000円、あずさ保育園・2067万円、三芳元氣保育園・1994万1000円。

問 認可保育所への補助金は保育所運営のために出ており、町で育つ乳幼児と子育て中の町民のための大事な事業として予算化されている。子ども達は安全で健やかに保育され、保護者と園とは緊密な信頼関係が築けるように町が指導していく責任がある。町としてはどのように考えているのか。

答 **子ども支援課長** 保護者の意見を取り入れて保育の充実を図っていききたい。

問 町内5つの保育所が連携を図りながら全体の保育の質をレベルアップさせていきたい。補助金を出しているのだからいろいろな面で指導していきたい。

問 待機児を放っておくことはできない。先を見据えて0歳児から3歳児までの公立保育所を増設しては。

答 **町長** 財政的に可能な公立第3保育所は、耐震補



第3保育所

企業訪問と若者の雇用

問 昨年6月議会で「町内には近隣市に比べ多くの企業がある。この環境を活かし若者に就職、定住してもらうことが雇用対策、町の活性化に繋がる重要な課題ではないか」と質問した。町長答弁は、「企業訪問を再開し若者の就職、雇用についても話していく」とのことだった。訪問した企業でどのような話をしたのか。

答 **町長** 今回は概要把握と意見交換が主だった。若者の雇用については今まで訪問した企業に、発信をしてお願いをしていく。



石田 豊旗

脱財政硬直化宣言について 計画にもっと具体性とスピード感を

問 行政改革、協働推進本部による進行管理は。

答 **政策推進室長** 経営改革実行プランの重点改革事項については平成24年度末で約45%程度実施済みもしくは検討着手している。特に公共施設のストックマネジメントと行政評価制度の構築を早急に達成するため進捗管理を主に実施している。

問 宣言の中にある、住民の利益、福祉の向上が見込めない事業とは何か。

答 **政策推進室長** そうした事業はないと考えているが、新たな行政評価制度を実施し公共性の判断が厳格化され、縮減等がされる事業もあり得ると考えている。

問 今回の宣言は、第4次行政大綱のアクションプランと位置づけるとあるが、数値目標と具体性に乏しく達成への期待度は。

答 **政策推進室長** 確かに明確な金額や、いつまでに何をといったところまで踏み込んでいないが政策推進室なり行政改革本部に課せられた命題であるのでしっかりと進捗管理をしていく。

問 公園・歩道の花壇の植

栽後の日常管理はどのように行っているのか。

答 **道路交通課長** 年2回の植栽と、その後の管理を月3回程度実施しているが、地域の協力もお願いしている。

問 都市計画課長 植栽後は月に3回点検作業を行っているが、天候次第でなかなか難しい。公園の毎日清掃等の委託業務に移管も考慮する。

問 5月2日に町長宅庭先で行われた3年未満の職員対象のBBQ大会の実施は。

答 **総務課長** 当日は平日であったが、就業後で、適正な会費制でもあり、貴重な意見交換を行うことができ、職員にとっても楽しい時間だったと思う。



植栽された花壇



三芳みらい
秋坂 豊

ふれあいセンターは継続的に使用を！ 施設の充実により更なる活用を図るべき！

問 町の高齢化率は、25%程度だと思ふが。

答 **福祉課長** 高齢者福祉計画では、21・6%だが、昨年度末で23・73%、計画より高く、今後も高くなる傾向になると思ふ。

問 ふれあいセンターの利用者は、廃止について強い反対の意見があるがどうか。

答 **福祉課長** 福祉課には届いていないが、老人クラブ連合会等には、そのような意見はあると聞いている。

問 代替施設の検討はされているのか。

答 **福祉課長** 26年6月稼働の広域ごみ処理施設余熱利用施設等を考えている。

問 町内の高齢者交流施設はあるのか。

答 **福祉課長** ふれあいセンターの他、ゲートボール場ふれあいサロン等である。

問 ふれあいセンター指定管理者の、社会福祉協議会へ寄せられた意見等の確認はどのようになっているか。

答 **福祉課長** 電話等で確認作業を行っている。

問 施設が老朽化しても、予算投入して継続していくべきだと思ふが。

問 「人・農地プラン」の進捗状況はどうか。

答 **観光産業課長** 北永井地区では策定済みである。県や関東農政局には地域に見合ったプランの策定や補助を要望している。

問 農地が集約され、農耕作業車の移動による事故等が懸念されるが、低速車マークや反射テープの配布や注意喚起のための看板を設置したかどうか。

答 **観光産業課長** 「人と農地に関する検討委員会」で同様のことが話し合われている。安全対策を講じていきたい。

問 世界農業遺産の世界会議に参加し、三芳町の農業の将来像を描くために参考にしたいことはあったのか。

答 **観光産業課長** 首都圏30kmでありながら江戸時代から盛んに行われている。農業を進化しながら次世代に継承していくことが三芳町の農業の将来像につながると感じた。

問 信号機設置数は、警察署に何箇所申請してあるか。

答 **道路交通課長** 音響装置付信号機を含め20箇所の設置を要望している。

問 交通安全対策について

問 信号機設置数は、警察署に何箇所申請してあるか。

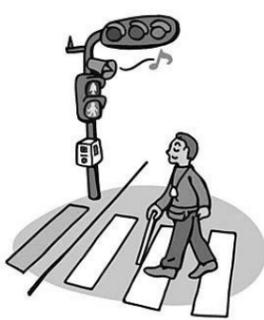
答 **道路交通課長** 音響装置付信号機を含め20箇所の設置を要望している。

問 申請してある中で、最長期間はどの程度か。

答 **道路交通課長** 10年になる箇所がある。

問 信号機の設定基準は、公開されているのか。

答 **道路交通課長** 設置基準は公開されていないが、申請箇所については、設置していただくよう最大限努力していきたい。



三芳みらい
井田 和宏

三芳町の農業政策の現状と今後について 都市近郊農業のモデルとなる町を目指して！

問 三芳野菜のブランド化とはどのようなことをイメージしているのか。

答 **観光産業課長** 三芳野菜そのもののイメージを一体化し向上させ、知名度アップを図り、売れる野菜作りを積極的に進めていきたい。

問 三芳野菜のロゴマークはどのように活用していくのか。

答 **観光産業課長** シール、のぼり旗やロゴマークを印刷する際の版代の補助等を行っている。

問 今後はどのような取り組みを考えているのか。

答 **観光産業課長** 更に知名度アップを図り、子ども達へのPR、メディア戦略に取り組んでいきたい。持続的に三芳野菜のPRを行っていくことが大切であると考えている。



みよし野島

問 「人・農地プラン」の進捗状況はどうか。

答 **観光産業課長** 北永井地区では策定済みである。県や関東農政局には地域に見合ったプランの策定や補助を要望している。

問 農地が集約され、農耕作業車の移動による事故等が懸念されるが、低速車マークや反射テープの配布や注意喚起のための看板を設置したかどうか。

答 **観光産業課長** 「人と農地に関する検討委員会」で同様のことが話し合われている。安全対策を講じていきたい。

問 世界農業遺産の世界会議に参加し、三芳町の農業の将来像を描くために参考にしたいことはあったのか。

答 **観光産業課長** 首都圏30kmでありながら江戸時代から盛んに行われている。農業を進化しながら次世代に継承していくことが三芳町の農業の将来像につながると感じた。

議会報告会「ふれあい座談会」を開催しました

ふれあい座談会が4月20日、21日の2日間、農業センター、藤久保公民館、竹間沢公民館、総合体育館の4会場で行われました。

内容は、平成25年度当初予算概要の説明や委員会活動報告、住民の方との意見交換がありました。町民の方から、様々な意見や質問が出されました。これからも、このような機会を通して、開かれた議会を進め、住民の方の声を町政に反映していきたいと考えています。

座談会で出された主な意見や質問

4/21 (日) 14時～16時
三芳町総合体育館 (研修室)

- 行政の進め方で職員は外に出て住民の意見を

4/20 (土) 18時～20時
農業センター

- 基金の積み立て状況と基金の使用目的はどうなっているのか。

4/20 (土) 10時～12時
藤久保公民館

- 中央公民館の工事はいつ始まっていつ頃できるのか教えてほしい。
- 藤久保三区は交通の便が悪い。早くバスを通してほしい。
- 行政は減らすことばかり考えている。議会が利用者の味方になり知恵を絞ってほしい。
- 給食における放射能食品安全基準を10ベクレルから1ベクレルに厳しくするべき。

4/21 (日) 10時～14時
竹間沢公民館

- スマートICフル化は建設が確定して調査費が計上されたのか、推進はするが決定していないということなのか。
- 交通ビジョン策定のためのスマートIC設計委託料が計上されているが、みよし塾で公共交通の調査と計画を立てている。これで町全体の公共交通と整合性がとれるのか。ばらばらで動くのは無駄なのでやめてほしい。

4/20 (土) 10時～12時
藤久保公民館

- 町長は選挙で様々なことを公約したが、交通安全、通学路安全対策、バス空白地帯など問題だ。



障がい者・特別養護老人ホーム入所施設建設 学校給食センターは、併設でなく単独施設に



問 障がい児(者)の親は自分が亡くなった後を大変心配している。入所施設が少ない。2市1町で3障がいの入所施設を考えると、

答 町長 財源の問題もあるが大切な問題と捉える。

問 特養施設への待機者数は119人。朝霞市・川口市では市建設の特養施設に入所の人はほとんどが市内の人だ。町の責任で特養施設を考えるべきではないか。

答 町長 今後とも119人より減る努力をする。

国は昨年、介護保険の改定で、ヘルパーの時間を「30分以上60分未満」から「20分以上45分未満」にした。その結果利用者との会話が減った。特別養護老人ホームの待機者も深刻な問題だ。現政権は、今後とも介護保険の利用抑制を考えている。不要不急の大型公共事業に10年間で200兆円も税金を使う予定。投資減税など大企業向けの新たな減税2000億円も行う。

社会保障の充実と中小企業・第一次産業が継続できる新しい日本を築く必要がある。

問 併設の施設提案は、町長提案と受けとめて良いか。

答 町長 最終的には、私が判断をした。

問 教員委員会での審議は。

答 教育長 5回程した。

問 栄養士や保健所の意見は聞いているのか。

答 教育総務課長 正式には、まだ聞いていない。

問 併設施設は全国どこにもない。食の安全から単独施設とすべきだ。ノロウイルス等感染症の心配は。

答 町長 十分注意をする。



問 併設にする目的は何か。

答 町長 神奈川県大井町を学んだ。併設施設で建設費を安くできるとも思う。

町内循環バスの交通空白地帯の今後の対応は！ 愛犬家の願い！ 町内ドッグランの早期設置を



問 町内循環バスの運行はいつ頃から開始されたのか。

答 福祉課長 昭和49年11月10日に設立されている。

問 政策推進室長 平成元年9月から運行されている。

問 空白地帯への試行運転の開始時期はいつ頃を予定しているのか。

答 政策秘書室長 平成26年度10月頃を予定している。

問 第2保育所前の歩道設置の工期は。

答 道路交通課長 8月、9月の2カ月間を予定。

問 設置後、通学路の変更をすることになると思うが、いつ頃を予定しているのか。

答 学校教育課長 工事終了後、10月のあたから変更

町内循環バスが乗り入れされていない地域の方で高齢の方対象の無料乗車券を活用できていない地域があるがどう捉えているか。

答 福祉課長 利用できる方が6383世帯で利用可能率41.1%。利用できない方が9146世帯で58.9%となっており、利用できない方には移動の手段として不便をお掛けしていると認識している。

問 町内循環バスの運行はいつ頃から開始されたのか。

答 福祉課長 昭和49年11月10日に設立されている。

問 政策推進室長 平成元年9月から運行されている。

問 空白地帯への試行運転の開始時期はいつ頃を予定しているのか。

答 政策秘書室長 平成26年度10月頃を予定している。

問 第2保育所前の歩道設置の工期は。

答 道路交通課長 8月、9月の2カ月間を予定。

問 設置後、通学路の変更をすることになると思うが、いつ頃を予定しているのか。

答 学校教育課長 工事終了後、10月のあたから変更



を予定している。

問 保育所へ送迎の車両の出入りによる危険が今後懸念されるが、交通誘導等、どう考えているのか。

答 こども支援課長 耐震補強が終わるまでに学校教育課と協議して検討する。

問 通学路の変更に伴い、役場入り口の横断歩道を渡ることになるが交通指導員の設置は予定されているか。

答 自治安心課長 通学路変更が明確になった段階で教育委員会と協議しながら調整、検討に入りたい。

問 ドッグランを設置することにより、様々な効果が見られると思うのだが、今後の対応として計画は。

答 町長 早い時期に設置したいと思っている。

議会活動日誌

5月

- 1日 議会改革推進特別委員会
- 10日 入間東部地区衛生組合議会 議会運営委員会
- 13日 第4回臨時会
議会改革推進特別委員会
- 16日 入間東部地区衛生組合議会 第1回臨時会
- 20日 入間東部地区消防組合議会 第1回臨時会
埼玉県町村議会議長会 理事会
- 21日 議会運営委員会
- 22日 上富地域拠点施設用地購入等調査特別委員会
- 27日 議会運営委員会
埼玉県町村議会議長会 臨時総会
- 28日 全国町村議会議長会 議長・副議長研修会
- 29日 兵庫県稲美町議会視察来庁

- 14日 総務常任委員会
- 17日 議会運営委員会
議会だより編集委員会
- 19日 議会改革推進特別委員会
- 21日 議会だより編集委員会
総務常任委員会
- 27日 第6回臨時会
議会運営委員会
総務常任委員会

6月

- 3日～11日 第5回定例会
- 3日 厚生文教常任委員会
- 5日 議会改革推進特別委員会
- 7日 議会運営委員会
- 10日 全員協議会
総務常任委員会

7月

- 3日 議会改革推進特別委員会
- 8日 上富地域拠点施設用地購入等調査特別委員会
- 9日 議会だより編集委員会
- 11日 議会運営委員会
- 12日 厚生文教常任委員会所管事務調査
- 16日 新潟県聖籠町議会視察来庁
- 17日 議会改革推進特別委員会
- 22日 総務常任委員会
- 23日 伊奈町議会 議会運営委員会視察来庁
- 31日 上富地域拠点施設用地購入等調査特別委員会



次の議会定例会は



8月30日(金)

開会の予定です

皆様の傍聴をお待ちしております

夜間議会を開催!

日時： 9月3日(火)
18:00～21:30(予定)

内容：議員の一般質問(3名)

※詳細につきましては、決定次第三芳町ウェブサイトの議会のページに掲載いたします。

編集後記

6月3日より開催された定例会は、11日に終了しましたが、1議案の総務常任委員会への付託と、その議案の審議が27日の臨時会で行われました。

今回の定例会では、議会改革の1つとして、多くの町民の方々に議会の内容を知って頂きたい、会期前に、議員が行う一般質問の内容をチラシで配布致しました。その結果、多くの傍聴者の参加を見ることができました。

議会だより編集委員も、メンバーが替わることなく3年目に入りました。

議会だよりが町民の皆様期待され、愛読されるよう、内容を充実させ、委員一丸となつて取り組んで参ります。

議会だより編集委員会

委員 石田

委員長 吉村 美津子
副委員長 久保 健二
委員 菊地 浩二
委員 石田 豊二
委員 小松 伸介
議長 内藤 美佐子